

2.アゴヒゲアザラシに関する有識者等の見解

- ・ 一般的な生態
- ・ 全国のアゴヒゲアザラシ記録
- ・ 那賀川における生態
- ・ 事例1
- ・ 事例2

一般的な生態



「日本の哺乳類(改訂版)」より

分布 北極周辺で広く分布する。日本では北海道北のオホーツク海まで分布する。

形態 体長：200～250cm
体重：雄260kg・雌360kg

生活史

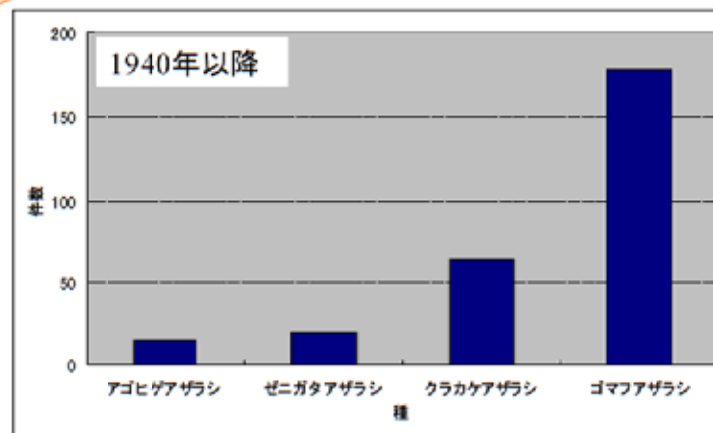
- 繁殖：繁殖期は3～5月
雌は氷板上で出産し約20日間授乳する。
 - 寿命：25～30歳
 - 行動：繁殖期以外は単独で行動する。
北海道のオホーツク海沿岸に
離乳後の幼体が少数現れる。
 - 餌：底生の小型の無脊椎動物食べる。
魚も食べる。
-

全国のアゴヒゲ記録

アゴヒゲアザラシの
ストランディング(漂着)件数

16件

年.月.日	都道府県
1819.05.00	新潟柏崎市
1833.08.21	愛知名古屋市
1956.02.01	新潟柏崎市
1968.04.28	秋田南秋田郡
1970.10.18	新潟新潟市
1977.09.06	千葉安房郡
1979.06.29	北海道紋別市
1983.05.00	北海道紋別市
1986.08.06	長崎下県郡
1986.09.21	茨城
1988.06.21	大分津久見市
1995.08.23	静岡浜松市
1996.02.27	北海道小樽市
2000.08.10	北海道紋別市
2000.11.26	愛知海部郡
2001.02.20	愛知豊橋市



日本に生息するアザラシ4種の例

那賀川における生態

年齢は？

性成熟・・・雌:約5歳 雄6~7歳

体長・・・200~250cm

・なかちゃん:約150cm、頭部の毛が褐色



・去年生まれの1歳半~3歳までくらい

雌雄は？

・腹部の生殖器で判断できる

那賀川で生息できる？

・順応性が高く、気候の変動に強い。

・環境に応じて餌を見つける。

・淡水でも大丈夫だが、個体によっては浸透圧の差で病気になることもある。(那賀川は汽水域)

なぜ那賀川に来たの？

・明確な理由は不明。

・若い個体が生息場所より南へ移動し、本州や太平洋沿岸まで広がるものがある。

・本来の習性から逸脱したものもいる。

・那賀川には餌採りのため。

・那賀川の中州には休息のため。

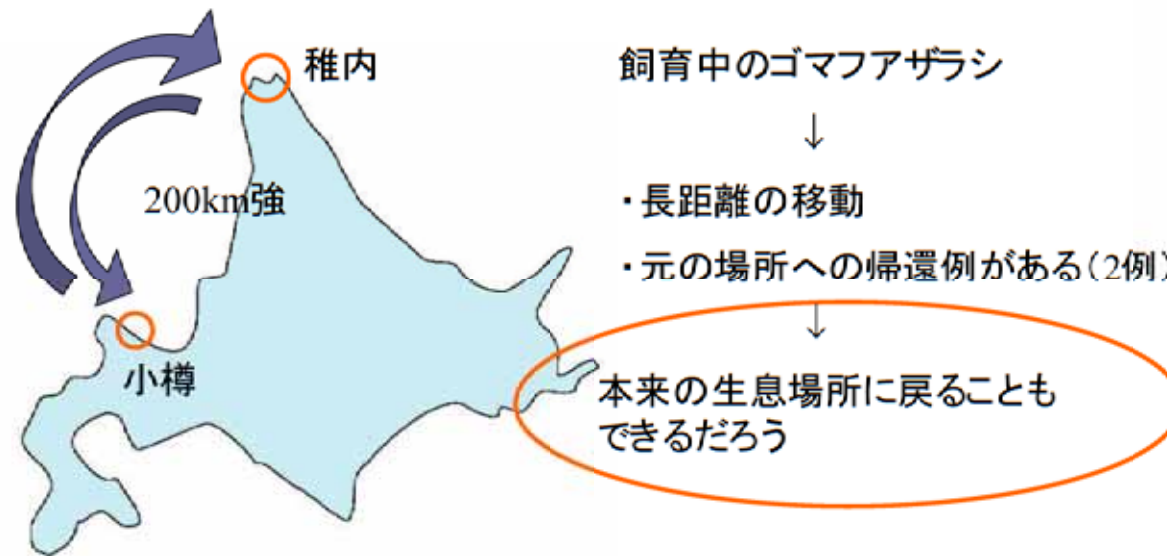
いつまで那賀川にいる？

・不明

・場所を気に入っているかぎり

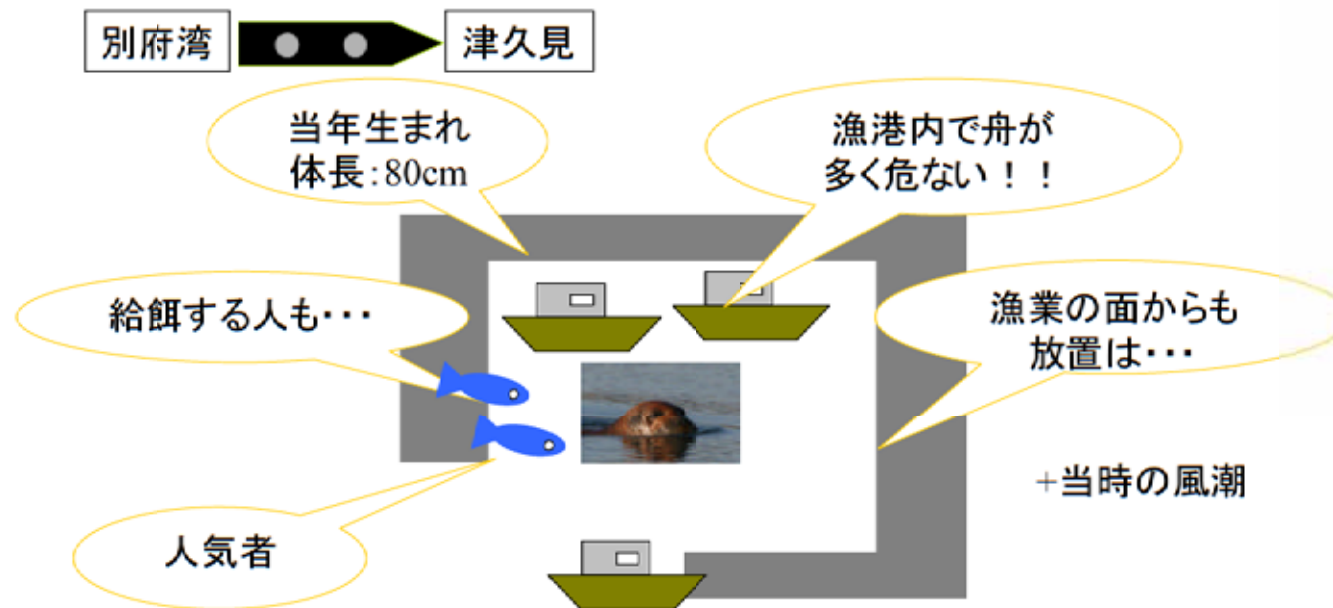
事例1 おたる水族館のゴマフアザラシの1例

P2-6



事例2 大分におけるアゴヒゲアザラシの保護

P2-8



- ・地域的に保護の要望が強かった
- ・飼育の例がなく、研究の一環として重要

↓ 保護

大分マリーンパレスで飼育(16年間)